

週刊センターニュース No.18



第18号(2004年7月12日)毎週月曜日発行
発行: 金沢大学 大学教育開発・支援センター
URL: http://www.kanazawa-u.ac.jp/faculty/daikyou_rche/index.htm

共同学習会への話題提供のお願い

大学教育開発・支援センターでは、昨年度末より教育改善や法人化後の大学環境の変化など、多様な視点から、教職員の間で自由に議論できる場を提供すべく共同学習会を企画してきました。今後も皆様のご意見やご希望を反映させながら企画を進めて参ります。例えば、授業作りやFD関連の話題なども共同学習会で重点的に取り上げていきたいと考えております。日常的な教育実践についてご紹介いただけたらと思います。共同学習会への話題提供をお願いいたします。

共同学習会のご案内

第27回 日時: 7月15日(木) 5時限目(16:10~17:40)
場所: 角間キャンパス総合教育棟南棟2階 大会議室
講師: 大村明雄(研究・国際担当理事)
題目: 「法人化の金沢大学の研究・国際交流への取組」

第28回 日時: 7月22日(木) 5時限目(16:10~17:40)
場所: 角間キャンパス総合教育棟南棟2階 大会議室
講師: 西山宣昭(大学教育開発・支援センター)
題目: 「聴覚障害者に対する大学における支援について 第2回
筑波技術短期大学訪問レポート」

第29回 日時: 7月26日(月) 5時限目(16:10~17:40)
場所: 角間キャンパス総合教育棟南棟2階 大会議室
講師: 岩本健良(文学部)
題目: 「『地域伝統文化体験実習』科目の新設構想」
趣旨: 学生の文化的関心に応え、同時に人格的陶冶を図るために、「地域伝統文化体験実習」科目の新設構想を提案させていただく。1)金沢の地で学ぶ利点を生かし、金沢らしさを体験してもらう。2)学生の多様な文化的・芸術的関心・期待に応える(スポーツは実技科目として教養的科目にあるが)。3)専門教育を支える素養の育成。美的・芸術的感性の涵養。学生への人格教育・薫陶。学生の社会性・マナーの向上。4)学生と地域とのふれあいを促す。
案の要旨(未定稿)を下記ホームページで公開しています。事前あるいは当日にご意見等をぜひお聞かせ下さい。

<http://web.kanazawa-u.ac.jp/~iwamoto/tradexp.htm>

大学基準協会への認証評価システムについて

去る6月25日(金)東京都千代田区一ツ橋の日本教育会館で、大学基準協会主催の「第6回大学評価セミナー」が開催されました。テーマは、「高等教育の質の保証の新段階 - 大学基準協会の認証評

価制度への取組み - 」でした。参加者総数は、1000人を超えていたのではないかと思います。参加者の数の多さが、大学基準協会の「大学機関別認証評価」への関心の高さを如実に物語っているといえるでしょう。

同セミナーにおいて、大学基準協会の認証評価システムの説明は、同協会スタッフの前田早苗氏（大学評価・研究部部長心得）によって行われました。

そこでは、大学基準協会が本年5月末に文部科学省に対し、認証評価申請を行ったことについて報告がなされたほか、同協会が従来から行っている大学評価である「加盟判定審査」、「相互評価」と認証評価の関係、同協会の評価システム改革のポイント、同協会の「認証評価」の特色、認証評価の実施スケジュールについて個別具体の説明がありました。その説明の中で、大学基準協会が認証評価機関になると「加盟判定審査」、「相互評価」イコール「認証評価」となること、同協会の認証評価が「正会員の継続的質保証」として行われるもので、単なる「点の評価」とは根本的に異なるものであること、が力説されていた点が印象的でした。

このセミナーとは別途、大学基準協会は、この7月、東京、名古屋、大阪、福岡の全国4会場で、2005（平17）年に同協会の評価を受けることを目指す大学関係者を主対象に「2004年度大学評価実務説明会」を実施しています。私（早田）は、このうち、7月5日（月）に名古屋市中区錦の名古屋ガーデンパレスの説明会に参加しましたが、この会場だけで参加者数が100名に達しているように見受けられました。

説明は、同協会スタッフの田代守氏（大学評価・研究部 審査・評価系第1主幹）によりなされました。そこでは、点検・評価報告書の作成方法、大学基礎データの作成方法、提出資料の種類等、大学基準協会への評価申請手続きに関わる実務的な説明が詳細に行われました。（文責 早田）

角間ランチョンセミナー開催記録（6月28日～7月9日分）

2004.6.28 「若者に多い消費者トラブル」梶（消費生活支援センター）

2004.6.29 「学生アルバイトと労働法」前田達男（法学部）

2004.6.30 「フランス語の学び方；目標を持とう！」三上純子（外国語教育研究センター）

2004.7.1 「韓国語・韓国文化に親しむために」南相瓊（法学部）

2004.7.2 「放送大学について；卒業単位になります」堀井祐介（大学教育開発・支援センター）

2004.7.5 「タバコのない社会への第1歩；煙のない大学を作るために」野村真樹（医学部附属病院）

2004.7.6 「住んで快適！学生マンション最前線！」池田寿生（金沢大生協）

2004.7.7 「聴覚障害者について；言語聴覚士の立場から」能登谷晶子（医学部）

2004.7.8 「現代社会における『みんなの責任』；『みんな』のばか！」仲正昌樹（法学部）

2004.7.9 「レポートの書き方；提出前夜に困らないために」塚脇真二（自然計測応用研究センター）

センター教員活動記録（6月25日～7月9日分）

2004.7.1 第25回共同学習会「大学基準協会の認証評価制度への取組み」（発表者 早田）